

## 官民対話 事業概要書

項目	記入欄	
1. 団体名	群馬県	
2. 事業名	「緑化センター」管理運営事業（仮称）	
(1) 事業内容	「緑化センター」の管理運営	
(2) 事業の種類 ※該当する番号に○（複数可）	1. 新設 2. 建替え ③ 改修 ④ 管理運営 5. その他（ ）	
3. サウンディングの目的	「県有施設のあり方見直し」により、民間活力を導入してコスト縮減やサービス向上を図る方針が示された。 そのため、民間のノウハウやアイデアを取り入れて利用者効率的な運営方法やサービス向上について、検討していきたい。	
4. 事業対象地の概要		
(1) 所在地	群馬県邑楽郡邑楽町大字中野 3924-1	
(2) 敷地面積	土地：5.5ha（県有 2.0ha, 邑楽町借受 1.8ha, 民間借受 1.7ha）	
(3) 土地制約上の制約	・邑楽町、民間から借りている土地・森林については協議が必要	
(4) 所有者	施設：群馬県 土地・森林：群馬県、邑楽町、民間（飛び地）	
(5) 周辺施設等	県立多々良沼公園、県立館林美術館、中野沼公園、ガバ沼	
(6) 対象地周辺の環境	田園地帯の平地林。多々良沼やガバ沼、中野沼が近接している。	
(7) その他（上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）		
5. 対象施設の概要(主なもの)	既存	整備後（予定）
(1) 施設の名称	緑化センター及び緑化センター附属見本園	未定
(2) 施設の延床面積	緑化センター本館：300m <sup>2</sup>	未定
(3) 建物の構成（構造・階数）	鉄骨造 1階建て	未定
(4) 主な施設の内容、機能	講義室（定員 30人）	未定
(5) 運営状況（運営主体、事業手法等）	直営	指定管理を想定
(6) その他（上記項目以外の情報、特徴、留意すべきこと等）		
6. 事業関連		
(1) 現状及び課題	○管理運営コストの削減、サービス向上 利用状況 31,246人（R2）、34,633人（R元） ○効率的な施設の管理、運営	
(2) 目的、考え方・基本方針	①目的 ・自然体験等を通じて、地域の活性化に資する施設	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な施設運営</li> <li>②考え方 これまでは、緑化推進の拠点施設として役割を果たしてきたが、今後は貴重な平地林を活かした自然体験等、新しいサービスも提供していく。</li> <li>③基本方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平地林を活かして、自然体験や森林ボランティア活動、森林環境教育等の新しいサービスを提供する。</li> <li>・施設の持続的運営のため、県の支出を減少させる。</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>(3) 前提条件</b> ※事業化にあたって事業者に考慮してほしいことなどがあれば、簡潔に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から、民間事業者による管理運営に切り替える</li> <li>・商業施設のみは不可</li> </ul>
<p><b>(4) 事業スケジュール</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度から、民間事業者による管理運営に切り替える</li> </ul>
<p><b>7. 対話内容</b> ※意見・提案を求める内容を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理運営に関する提案（PFI等の可能性、指定管理者制度を導入する場合の経費削減の提案等</li> <li>・施設を活用した地域活性化の提案</li> <li>・周辺県有施設を含めた効率的な管理</li> </ul>